



園田中だより

さとく・
うつくしく・
たくましく

No. 6

尼崎市立園田中学校
TEL 06-6491-0775
令和2年7月27日
(文責 澤嶋 伸)

園田中学校ホームページ : <http://www.ama-net.ed.jp/school/j20/>

天からの封書

これから新たな時代を創っていくみなさんへ贈るにふさわしい言葉を見つけました。紹介します。

それは、教育学者 森信三先生の「天からの封書を開けよ」という言葉です。この言葉には、「人は皆、それぞれが死ぬまでに果たすべき役割が記された封書をもって生まれてくるのだ。だから、人は誰でも自分の使命を果たすために、人生を精一杯生きなくてはいけない。」という思いが込められています。

同じようなことを、坂本龍馬も言っています。「人がこの世に生を得るのは、ことを成すにあり。」これは、「人間は誰しも、この世で何かを成し遂げるために生まれてくるのだ」という意味です。なんだか似ていますよね。そして、続けてこう言うのです。「何の志も亡きところに、ぐずぐずして日を送るのは、実に大馬鹿者なり」と。自分は、何のために生まれたのか、どんな人生を送るべきなのか、考えさせられますね。

では、どうすれば封書を開けて、自分の果たすべき使命に気付くことができるのでしょうか。

吉田松陰は、『『目の前のことに全力を尽くす』、それ以外に自分の使命に気付く方法はない』と言っています。つまり、天からの封書を開けて、自分の使命を理解するには、今やるべきことを精一杯するしか方法はないということです。



中学校生活では、勉強に、部活にと、やるべきことがたくさんあります。何でこんなことをしなければならぬのかと、愚痴を言いたくなることもあるでしょう。

でも、今やるべきことに誠実に向き合って努力するからこそ、本物の自分を見つけ出すことができるのかもしれない。

人はこの世に生を受けた理由が必ずあります。あなたが生まれるとき、家族はどんなに喜んだことでしょう。そういう意味では、あなたは生きているだけで十分役割を果たしています。でも、あなたには、他にも、大切な使命があるかもしれません。あなただけに与えられた役割、使命が必ずあるはずです。

本物の自分の生き方を見つけましょう。



人がこの世に生を得るには、ことを成すにあり。

3年総体代替大会

夏の総合体育大会の中止に伴い「3年生に、区切りの試合を設定してやりたい」との主旨で代替大会が行われています。

新型コロナウイルス感染防止と熱中症予防のため、種目によっては、時間を短縮したり、タイムレースや交流試合を組むなどしたり形式を工夫し開催しています。

どの大会でも子どもたちの精一杯のプレーに新型コロナウイルスに負けない強い力を感じました。



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



軟式野球部



サッカー部



女子ソフトボール部



男子テニス部



女子テニス部



女子バレーボール部



水泳部



卓球部